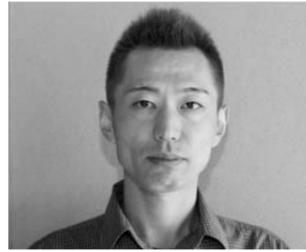




一日一日を大切に過ごす

昭和49 高橋 央さん 南方町山成・35歳

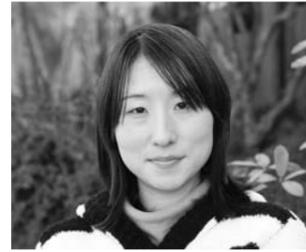
時がたつのが、ここ数年本当に早く、特に昨年は日々追われ、あっという間に過ぎたような気がします。しかしそれだけに、周りの人の温かさや、時間の大切さを感じることができた貴重な年でもありました。今年、時間を大切にしながら、植物が芽を出し、葉を付け、少しずつ背丈を伸ばして成長していくように、周りの皆さんから、さまざまな栄養をもらい、自分自身の成長につなげていける1年にしたいと思っています。



仕事と趣味 双方頑張りたい

昭和49 佐々木 貴則さん 豊里町下町・35歳

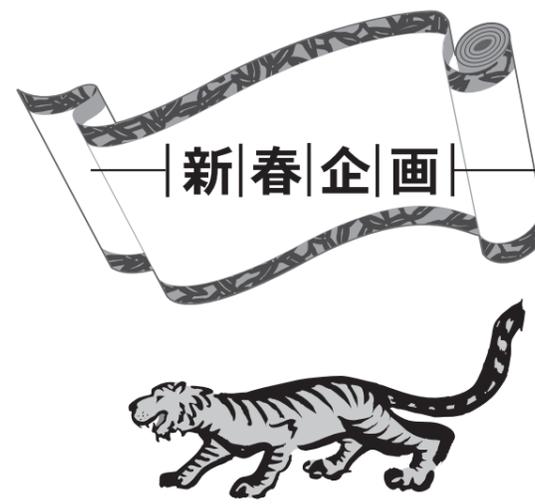
人生3度目の年男を迎え、同級会に参加した懐かしい顔触れに、改めて年月の早さを感じました。今年の抱負は、仕事では会社がJIS認定工場となったので、今まで以上に製品の品質と信頼性を追求し、お客様に「自信を持ってお勧めでき、心から喜んでいただける製品」を製造していきたいと思っています。また、趣味で行っている音楽活動では、幅広いジャンルに挑戦して音楽観を磨き、演奏の幅を広げたいと思っています。



家族がもう一人 温かい家庭を

昭和61 阿部 美沙さん 石越町第十一区・23歳

今年、わが家に家族がもう一人増える予定なので、家族仲良く、健康に過ごせる1年であってほしいと思います。わたし自身では、高齢者のお世話をする「介護士」の資格の取得にチャレンジしたいと思っています。石越に来て3年目を迎えますが、地域のことや登米市のことなど、まだまだ分からないことがあるので、子育て支援センターなどの事業に積極的に参加して、地域のことを学びたいと思っています。



今年<sup>とら</sup>は寅年！年男・年女に聞く

# 『新年の抱負』

皆さん明けましておめでとうございます。平成22年が始まりました。今年のえとは「寅<sup>とら</sup>」です。寅は十二支の中で第3番目に数えられ、その力強いイメージから、「決断力と才知」の象徴とされています。

また、その容姿から、世界中で邪気払いや、勇気を象徴する動物ともされています。生きた虎が日本に来て人々に知られたのは豊臣秀吉の時代とされ、江戸時代になると献上品や見せ物として時々渡来していたと言われています。

ライオンと並びネコ類のなかで最大の動物である虎はアジアを代表する百獣の王。十二支の古里・中国では、天の東西南北を守る青竜・白虎・朱雀・玄武の四神（聖獣）のひとつに祭られ、「龍は雲を起し、虎は風を起す」の伝説のように、靈妙・神秘的なものと考えられてきました。四神の中で虎は、方向では西、また季節では秋に相当します。また、「虎の尾を踏む」「虎の威を借る狐」「虎穴に入らずんば虎子を得ず」などのことわざは、古来から虎の持つ勇敢な性格や神秘性を象徴するものでもあります。

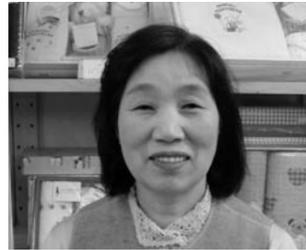
今月号では、そんな寅年生まれの「年男・年女」を代表して市内の9人に、新年の抱負を語っていただきました。



天職と余生について思う

昭和13 首藤 徳朗さん 東和町米川第6区・71歳

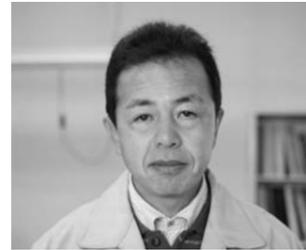
「新年の抱負」について改めて考えると、今更ながらこれまで漫然と日々を過ごしてきた感じがします。わたしもいつしか満72歳を迎えようとしています。同年代の皆さんは、果たしてどんな望みを抱いているのか気に掛かる気がします。今ここで言わせていただくならば、これからも「健康」を第一に心掛け、終戦直後から約50年にもわたり携わってきた「炭焼き」を天職と心に受け止め、今後も体の続く限り頑張りたいと思います。



家族や友人の支えに感謝

昭和25 今野 とも子さん 米山町的場・59歳

今年、還暦という大きな説目を迎え、改めて家族や友人たちの支えによって今日があると実感しています。日々、趣味で始めたパッチワークを通じてたくさんのお会いがあり、自分より年上、年下の人との対話などを通して、考え方や人生の分岐点に立った時の対処法など、さまざまなことを教えていただく機会が多くあります。そのようなお会いをこれからも大切に、今年も楽しく充実した1年を過ごしていきたいと思っています。



人のつながり 今後大切にする

昭和37 鈴木 武彦さん 中田町南町・47歳

年男としての「抱負」について考えたとき、改めて自分が満48歳になったことを感じました。それをふまえて今思う事は、これまでの生活の中で培われてきた「家族」「仕事」「地域」などの多くの人とつながりや関わり合いを今後も大切にしていきたいということです。また、今後取り組んでみたいと思っていることは数多くありますが、何事にも無理をしない程度に取り組む、バランスの取れた生活を送りたいと思っています。



自己を大きく 伸ばせる1年に

昭和61 小野寺 弘展さん 迫町平柳・23歳

昨年、JAみやぎ登米本店の共済部で事故相談を担当していますが、まだ知らないことが多く戸惑ってしまうことがあるので、今年先輩から接客や話し方など多くのことを学び、一日も早く一人前の担当として、お客様に少しでも安心してもらえるようになりたいと思います。また、今年仕事以外にも積極的にさまざまな事にチャレンジして多くの事を吸収し、自分の視野を広げられるような年にしたいと思っています。



何事にも チャレンジ!

平成10 高橋 実知さん 登米町我津郷・11歳

わたしの今年の抱負は、何事にも積極的に「チャレンジ」することです。わたしはこれまで自分の考えを持っていても、人前ではあまりうまく発表できませんでした。なので今年、頑張る人前でも自分の意見をしっかりと伝えるようになりたいと思います。また、わたしの学校はスポ少が盛んなので、何かのスポーツを始めたいとも思っています。勉強とスポーツの両立は大変ですが、両方頑張りたい1年間を元気に過ごしたいです。



4月から 復習をしつつ 中学生

平成10 佐佐木 寅月くん 津山町横山10区・11歳

僕は今年の4月から中学生になるので、中学生になったら数学の勉強を頑張りたいです。家で自主学習では、毎日1ページずつ復習していますが、あと少し復習しておけば完璧なのに、少し前で止めてしまうことがよくあるので、今年もしっかり覚えるまで復習することを目標にしたいと思います。中学校での数学は小学校が基礎となっているので、あと3カ月間しっかり学習し、数学が楽しくなるようにしたいです。